

ヒルフェ通信(10月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



◆第19期社団基礎研修が始まりました

9月12日(木)、東京都行政書士会館講堂におきまして、令和6年度第19期社団基礎研修が始まりました。今回、基礎研修にお申込みいただいたのは42名です。

基礎研修初回は、まずはヒルフェを知っていただくためのオリエンテーション的な位置づけで、定款や規則、ヒルフェ便利帳などを使い、各部の業務、会員とのかかわりなどについて専務理事や各担当理事が登壇して説明しました。

冒頭、山崎理事長より、不祥事などを起こすことがないようにと言った厳しいお話も交えたご挨拶もあり、皆さん、最後まで緊張感をもって受講されていたように見受けられました。

研修センターの研修を修了され、前半30時間は終わったものの、まだまだ長丁場が続きます。各地で観測史上、最も遅い猛暑を記録する中で始まった基礎研修ですが、体調管理にも注意をされて、全員揃って修了を迎えていただけるよう、研修部一同、バックアップに努めたいと思います。(研修部 高山久美子)



◆シンポジウム「高齢社会における成年後見制度の展望」 出席報告

令和6年9月7日(土)に、関東学院大学大学院法学研究科と神奈川県行政書士会主催のシンポジウム「高齢社会における成年後見制度の展望」に理事長他1名にて参加致しました。

開会の挨拶の後、神奈川県行政書士会会長・コスモス成年後見サポートセンター理事長である田後隆二様による基調講演がございました。本基調講演は、「成年後見制度の現状と課題」と題し、近年の現状を把握するとともに、成年後見制度利用促進基本計画や現在進められている法改正についても触れておられました。本シンポジウムは一般の参加者が非常に多く、来場者にとっても大変興味深い内容でした。

第2部では、コーディネーターの大原利夫様(関東学院大学大学院法学研究科委員長)、パネラーの岡本祐樹様(神奈川県行政書士会理事・総務部長、コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部幹事)及び海老原楓様(小田原市福祉健康部高齢介護課職員)が、それぞれの立場から、任意後見の活用・周知、行政から見た後見制度の運用や医療同意の問題、実務家の視点からの具体的な活動についての問題提起・報告の後、田後会長を加えた4名でのパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、それぞれの報告を踏まえた議論が行われ、一般の来場者だけでなく実務家にとっても、今後の高齢社会における成年後見制度の利用や展望について、考える良い機会となりました。

本イベントは、研究機関である大学と実務家の集団である行政書士会の共催であり、学術的な視点(研究者)と実践的な観点(実務家)の融和を目指すもので、大変意義深いシンポジウムでした。(常任理事 齊藤 志郎)

◆変更届の電子化のご案内

ヒルフェでは、会員の登録事項に変更が生じた場合、本会への届と同様に別途変更届を提出いただく必要があります。これまで変更届につきましては、郵送いただく形になっておりましたが、9月2日より、HP上のフォームから申請いただくことができるようになりました。

ヒルフェHPトップページより→会員専用ページログイン→文書関係→総務関係→変更届で、申請フォームにとびますので、そちらから入力、送信ください。

なお、入会届、退会届につきましては、確認事項や提出物等がございますので、これまで通り郵送での取り扱いとさせていただきます。(総務部・広報部)